

口説く

中野
劇団

口説く

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

男 1

男 2

踊ったりする方のクラブの隅の方。痛い格好の男二人がいる。

男 2 マジで？ ナンパすんの？

男 1 そうだよ。

男 2 ええ？ マジかよ。

男 1 そのために来たんだろ。

男 2 そうだけだよ。

男1 あそこの、ほら丁度二人みたいだし。いいんじゃない？ いけるだろう？

男2 ええ？

男1 おまえどっちがいい？

男2 右？

男1 おまえは左だな。

男2 え？

男1 俺右な。よし、行くぞ。

男2 やばいよ。

男1 何が？

男2 ナンパなんてしたことないから、まだ心の準備が。

男1 早くしないと行っちゃうだろ。どれくらいでできるの？

男2 何が？

男1 心の準備。

男2 ええ？ わかんないよ。

男1 できるだけ早く準備しろよ。

男2 ええ？ わかったよ。

男2、衣服のポケットをあちこち調べている。

男1 どうした？

男2 いや、御守りがさ。

男1 早くしろよ。

男2 焦らすなよ。あれえ？

男1、ズボンを脱ぎ始める。男2、それに気づく。

男1 何やってんだよ！

男2 御守りがさ。

男1 何やってんだよ。

男2 そんなこと言ったって御守りがさ。おまえ、知らない？

男1 知らないよ。

男2 あれないと、緊張しちゃって俺駄目なんだよ。

男1 公衆の場でいきなりズボン脱ぎ出す奴が何言ってるんだよ。

男2 あったあった。

男2、首にかかっている御守りを見つめる。

男1 ズボン関係ないだろ。

男2、ズボンを脱いだまま御守りにお祈りしている。

男1 てか、まず履けよ！

男2 シッ！

男1 「シッ」じゃねえよ。今見られたら終わりだぞ。早くしろよ。

ズボンを履く男2。

男2 きつくて入らなね！

男1 履いてただろ！

男2 うん。あれ？

男1 靴脱げって。

男2、ズボンを履く。

男1 取りあえず、あの子には気づかれなかったみたいだな。

男2 うん。大成功だ。

男1 勝負パンツか。

男2 毎日が勝負パンツだ。

男1 名言だ。倭万智に聞かせてやりたかったよ。

男2 生きてたらな。

男1 ああ。生きてたら。で、心の準備できたか？

男2 あ。

男1 脱いだ意味ないじゃないか！

男2 心の準備しないで脱いだから、脱ぐことでいっぱいになってたんだよ！

男1 非常にややこしいよ！ もう一回は、流石に無理だぞ。

男2 いいよ、何とかするから。

男1 何とかできるのかよ！

間。

男1 どうだ？

男2 緊張する。

男1 人を四回舐めると緊張しなくなるみたいだぞ。

男2 人を？

男1 先生に聞いたことがある。

男2 わかった。ちょっと待ってて。

男2退場。しばらくして頬を押さえて戻って来る。

男2 痛えー。

男1 無理か。

男2 いや、何とか舐めてきた。

男1 でかした！

男2 おう！

男1 俺達の未来は。

男2 明るいぞ。

男1 じゃあ、もう行けるな。

男2 駄目だ、効果が無い。

男1 舐めたのにか？

男2 うん。おまえの先生は凄く嘘つきだ。

男1 ごめん。俺の先生凄く嘘つきだ。

男2 何の先生だ？

男1 歴史。

男2 そうか。でも行くしかないな。行くよ。

男1 待って。

男2 何？

男1 今まで先生から教わったことが全部嘘だと思うと、凄く不安になってきた。

男2 わかった。後で確かめよう。

男1 今じゃなきや駄目だ。

男2 今？ だけど。

男1 今確かめないと、他に何も手につかない。

男2 わかった。問題集持つてるから確かめよう。

男1 すまない。

男2、歴史の問題集を取り出す。

男2 問題。永禄三年、今川軍に対して奇襲を仕掛けた信長が出陣前に舞ったといわれ

る幸若舞の演目は？

男1 敦盛。

男2 問題。山崎の戦いで、光秀が籠城したのは何城？

男1 勝竜寺城。

男2 問題。秀吉が五大老宛てにしたためた最後の手紙の中にある「ちくぜん」とは誰のことか？

男1 前田利家。

男2、解答を確認する。

男1 どうだ。

男2 全部合ってる。

男1 ということは？

男2 この本も出鱈目ってことか！

男1 畜生！ うおおおお！

男2 俺達は嘘の歴史を教えられてきたんだ！

男1 誰の陰謀だ！

男2 そりゃ、支配者だよ。

男1 支配者かあ。

男2 くそう、みのもんため！

男1 俺達、みのもんたに支配されてたのか？

男2 誰だと思ったんだ。

男1 もう時間がないぞ。

男2 よし。

男1 何て声かける？

男2 ハンカチ落としましたよって言う。

男1 落としてないぞ。

男2 俺が落とす。

男1 おまえが？

男2 みんな自分がどんなハンカチがいちいち覚えてないだろう。

男1 頭いいな。

男2 おう。

男1 その後は？

男2 そこまでいったら後はプロポーズするだけだろ。

男1 よし！ それでいこう！

男2 おう！

男2、手を出す。

男1 何？

男2 ハンカチ。

男1 持っていないよ。

男2 何で？ 何で持っていないんだよ。さっき持ってただろ。

男1 さっきは持ってた。

男2 今は？

男1 持っていない。

男2 何で？

男1 何で言ったっけ？ うんこする部屋。

男2 トイレか。

男1 うん。トイレに流した。

男2 何で？

男1 紙がなかった。

男2 ハンカチで拭いたのか？

男1 うん。

男2 ハンカチ、トイレに流したら駄目だろ。

男1 仕方なかったんだよ。

男2 詰まったらどうするんだよ。

男1 でも。

男2 店に迷惑かけたら駄目だろ。

男1 そうだけど。

男2 警察呼ばれたらどうするんだよ。

男1 俺のハンカチってわからないから。

男2 警察が調べたらすぐばれるぞ。

男1 大量生産の安物だよ。特定できるわけないって。

男2 ばか。ハンカチについての物を鑑定されたら終わりだ。

男1 そっか。ああ、だんだん後悔してきた。そこまでして拭くことなかったよな。

男2、トイレへ向かう。

男1 何処へ？

男2 まだ、詰まってるかも知れないから。

男1 あのハンカチ使うのか？

男2 他にないんだから仕方ないだろ。洗えば何とかなるだろ。

男1 でも臭いが。

男2 消臭剤持ってないか？

男1 今日は持ってない。

男2 俺もない。

男1 コンビニに売ってるんじゃないかな。隣にあったけど。

男2 よし。じゃあ、買って来て。俺、ハンカチ取って来るから。

男1 わかった。俺達の未来は。

男2 明るいぞ。

二人、別々の方向へ走り去る。終わり。